



MASCラリー in 新城 2015 特別規則書 (草案)

公 示

本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに国際自動車連盟（FIA）の国際モータースポーツ競技規則とその付則、それに準拠したJAFの国内競技規則とその付則ラリー競技開催規定、JMRC中部ラリーシリーズ戦規定、JMRC中部ラリー共通規則および本競技会特別規則に従って開催される。

第1条 競技会の名称

2015年JAF中部・近畿ラリー選手権第1戦／2015年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ第1戦
2015年JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ第1戦
MASCラリー in 新城 2015

第2条 競技種目

ラリー競技開催規定の付則スペシャルステージラリー開催規定に従ったスペシャルステージラリー

第3条 競技格式

JAF公認 準国内格式 公認番号：2015-0000

第4条 開催日程 及び 開催地

2015年4月18日（土）～19日（日）の2日間
ラリースタート：愛知県新城市玖老勢字新井9 山びこの丘
ラリーフィニッシュ：愛知県新城市玖老勢字新井9 山びこの丘

第5条 大会本部（HQ）

1. 所在地・名称・電話番号：愛知県新城市玖老勢字新井9・山びこの丘管理棟・0536-35-1191
2. 大会本部開設及び閉鎖時間
開設時間：4月18日（土）7：00 閉鎖時間：4月19日（日）18：00
3. 大会本部レイアウト図（別途）

第6条 競技内容

1. 競技方法：スペシャルステージラリー
2. 総走行距離：約120km（中部近畿）／約100km（チャレンジ）
3. スペシャルステージ
 - (1) スペシャルステージの路面の種別：舗装
 - (2) スペシャルステージの合計距離：29.7km（中部近畿）／23.9km（チャレンジ）
 - (3) スペシャルステージの数：5（中部近畿）／4（チャレンジ）
 - (4) セクションの数：2（中部近畿）／2（チャレンジ）
 - (5) デイの数：1（中部近畿）／1（チャレンジ）
 - (6) レッキの具体的な実施方法：コミュニケーションにて公示する
5. サービスの有無：有
6. 競技中の指定給油所の有無：有

第7条 オーガナイザー名及び住所

オーガナイザーの名称（略称）：モンテカルロ・オート・スポーツ・クラブ（MASC）
所在地：〒480-1103 愛知県長久手市岩作琵琶ヶ池20-1 株式会社ラック内
代表者：勝田 照夫
TEL：0561-63-0103 / FAX：0561-63-3535
e-Mail：masc@luckmc.ec-net.jp

第8条 組織

1. 大会役員
大会会長：穂積 亮次（新城市長）
2. 組織委員会
組織委員長：勝田 照夫
組織委員：長坂 眞澄
組織委員：米谷 展生
組織委員：大岡 武
3. 競技会審査委員会
審査委員長：井上 裕紀子（JMRC中部派遣）
審査委員：梅津 祐実（JMRC近畿派遣）
4. 競技役員
競技長：長坂 眞澄

副競技長	:	米谷 展生
コース委員長	:	田中 潤
計時委員長	:	村田 正成
技術委員長	:	花井 勝
救急委員長	:	足立 さやか
事務局長	:	米谷 展生
サービス管理者	:	高木 大輔
コンパティビリティオフィサー(CRO)	:	藤田 洋文 (SYMPHONY)

5. JMRC 中部救急認定委員 : 伊藤 好宏

第9条 参加車両

1. JAF 中部・近畿ラリー選手権 / JMRC 中部ラリーチャンピオンシリーズ
 - (1) 2015 年 JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に定める RN 車両、RJ 車両、RPN 車両、RF 車両、または AE 車両とする。また、RPN 車両については、同一車両型式の最も古い JAF 登録年が 2006 年 1 月 1 日以降の車両のみ参加が認められる。
 - (2) 過給器付きエンジンにおけるエアリストラクターの装着は任意とする。
但し、エアリストラクターを装着する場合、そのサイズは最大内径 33 mm (外径: 39 mm 未満) とする。
さらに、DE-6 クラスにおいてエアリストラクターを装着しない場合は、エンジンコントロールユニット (ECU) の変更、改造を認めない。
 - (3) 最低重量については 2015 年 JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定第 1 章第 7 条に従うこと。
 - (4) ランプポッドを装着する際は、RF 車両も含めて 2015 年 JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定第 3 章第 10 条 10. 2) に従うこと。
 - (5) すべての RF 車両、RPN 車両および AE 車両は、下記のロールケージを装着すること。
 - ① 6 点式 + 左右のサイドバーを基本構造とした 40φ のロールケージを装着しなければならない。
 - ② 気筒容積が 2000 cc を超える車両については少なくとも一本の斜行ストラットを取り付けなければならない。
2. JMRC 中部ラリーチャレンジシリーズ
 - (1) 2015 年の JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に従った以下の車両とする。
 - A. RN 車両
 - B. RJ 車両
 - C. RF 車両
 - D. 2002 年 JAF 国内競技車両規則第 3 編ラリー車両規定に従って製作された車両 (RB 車両) で下記のすべての条件を満たしたもの。
 - a. 2002 年 12 月 31 日以前に運輸支局等に初年度登録された車両であること。
 - b. FIA 公認車両または JAF 登録車両であること。FIA 公認車両と JAF 登録車両の両方の資格を有する場合は、JAF 登録車両として取り扱う。
 - c. 6 点式以上のロールケージを装着していること。
 - E. AE 車両
 - F. RPN 車両
 - (2) ランプポッドは装着禁止とする。但し、メーカーラインオフ時に走行用前照灯が 2 灯式である車両については、道路運送車両法を遵守することを条件に、走行用前照灯 2 灯の追加が認められる。なお、走行用前照灯を追加する際のボンネットの加工は一切認めない。
 - (3) リストラクターの装着は義務付けない。
 - (4) リストラクターの装着時を除き、ECU の変更および改造は一切認めない。
3. オープンクラス
 - (1) 2015 年の JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定に従った以下の車両とする。
 - A. RN 車両
 - B. RJ 車両
 - C. RF 車両
 - D. 2002 年 JAF 国内競技車両規則第 3 編ラリー車両規定に従って製作された車両 (RB 車両) で下記のすべての条件を満たしたもの。
 - a. 2002 年 12 月 31 日以前に運輸支局等に初年度登録された車両であること。
 - b. FIA 公認車両または JAF 登録車両であること。FIA 公認車両と JAF 登録車両の両方の資格を有する場合は、JAF 登録車両として取り扱う。
 - c. 6 点式以上のロールケージを装着していること。
 - (2) 使用できるタイヤ銘柄の規制は行わない。
 - (3) リストラクターの装着は義務付けない。
4. 全クラス共通事項
 - (1) メーカーラインオフ時に装備されている安全ベルトに加え、2015 年の JAF 国内競技車両規則第 2 編ラリー車両規定第 2 章第 2 条に定める 4 点式以上の安全ベルトを装備していること。
 - (2) エアクリナーケースの加工は一切認められない。エアフィルターについては純正品以外への変更が認められる。
 - (3) 三角停止板 2 枚、赤色灯、非常用信号灯 (発煙筒) 2 本以上、牽引ロープおよび救急用品を搭載すること。これらは走行中に浮遊物とならないように、確実に固定すること。
A3 サイズの SOS/OK サインを二枚、車両に搭載すること。

- (4) 少なくとも2015年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第2章第3条3. 1)に定める手動消火装置を装備すること。
- (5) ホイールおよびタイヤについては、2015年のJAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定第3章第6条に従うこと。なお、RF車両はRJ車両規定に従うこと。
- (6) タイヤの仕様は、オープンクラスを除き、JMRC中部ラリーシリーズ戦規定付則の通り通称Sタイヤの使用は認めない。
- (7) AE車両については、2015年JAF国内競技車両規則 第2編 ラリー車両規定第5章 AE車両用改造規定に定める通りとする。
- (8) RPN車両については、2015年JAF国内競技車両規則 第2編 ラリー車両規定第4章 RPN車両用改造規定 に定める通りとする。
- (9) マフラーについて、保安基準適合品への変更を認めるが、如何なる場合においても排気ガス規制値を厳守しなければならない。経年変化・変形等の為、音量規制値を上回る事は許されない。尚、主催者は必要に応じ、特別規則書にてメーカー純正品に規制する場合がある。参加者は、使用するマフラーについて主催者が求めた場合、保安基準適合品である事を証明出来るように必要な書類等を完備する事。

第10条 クラス区分

1. JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ
 - DE-6クラス：気筒容積 3000 ccを超える車両（RN、RJまたはRF車両）
 - DE-5クラス：気筒容積 1500 ccを超え、3000 cc以下の車両（RN、RJ、RF車両）
 - DE-4クラス：気筒容積 1600 ccを超え、2000 cc以下の2輪駆動車両（RPN車両のみ）
 - DE-3クラス：気筒容積 1500 cc以下の車両（RN、RJまたはRF車両）
 - DE-2クラス：気筒容積 1600 cc以下の2輪駆動車両（RPN車両及び全てのAE車両）
2. JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ
 - CL-2クラス：気筒容積 1500 ccを超える車両
 - CL-1クラス：気筒容積 1500 cc以下の車両
 駆動方式および車両区分によるクラス分けは行わない。
3. オープンクラス
 - 気筒容積、駆動方式および車両区分によるクラス分けは行わない。

第11条 参加資格

1. JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ
 - (1) ドライバーおよびコ・ドライバーは、当該車両を運転するのに有効な運転免許証を取得後1年以上経過していること。
 - (2) JMRC中部加盟クラブ員であり、かつ各クラブ代表者が責任をもてる者であること。（中部・近畿ラリー選手権のみの参加を希望するものはこの限りでない）
 - (3) 1クルー2名限定とする。
 - (4) 20才未満の参加者は、親権者の承諾書を主催者に提出しなければならない。
 - (5) 上記(2)以外の者においては、主催者の判断により参加を認める。
2. JMRC中部ラリーチャレンジシリーズ
 - (1) ドライバーは、ドライバーとして、過去5年以内のJMRC各地区のラリーシリーズまたは、JAF地方ラリー選手権においてシリーズ3位以内に入賞した経験がない者であること。
 - (2) JMRC中部加盟クラブ員であり、かつ各クラブ代表者が責任をもてる者であること。
 - (3) 1チーム2名限定とする。
 - (4) 20才未満の参加者は、親権者の承諾書を主催者に提出しなければならない。
 - (5) 上記(1)および(2)以外の者においても、所属する地域クラブ協議会の共済会もしくはスポーツ安全保険に加入していることを条件に、主催者の判断により参加を認める。但しその場合、上記(1)に該当しない者を含むクルーは賞典外とし、ポイントを獲得することはできない。
 - (6) 参加資格について疑義がある場合は、その証明責任は参加者にあるものとする。
3. オープンクラス
 - (1) 1クルー2名限定とする。
 - (2) 20才未満の参加者は、親権者の承諾書を主催者に提出しなければならない。

第12条 参加台数

各クラス合計で60台に制限する。

第13条 参加料

中部・近畿ラリー選手権（チャンピオンシリーズ）	： 50,000円（レッキ費用込み）
チャレンジシリーズ	： 35,000円（レッキ費用込み）
オープンクラス	： 49,000円（レッキ費用込み）
サービス費用（サービス車両1台につき）	： 2,000円
サービス員懇親会BBQ費用（サービス員1人につき）	： 3,000円

サービス登録していない車両は、サービスパークに入場できません。

参加料には、レッキ代は含まれますが、宿泊代は含まれません。

宿泊は、各自 山びこの丘 TEL0536-35-1191/FAX0536-35-1194 に申し込んで下さい。

山びこの丘 WEB サイト <http://www.sanyurin.jp/>

第14条 保険の加入

参加者は、ラリー競技に有効な対人、対物賠償保険および搭乗者保険（各地区のJMRC共済または、スポーツ安全保険にクルー全員が加入している場合は搭乗者保険に加入しているとみなす）に加入すること。

JMRC中部加盟クラブ員は、ラリー互助会に加入する事で対人、対物保険に加入したものとみなす。

ラリー互助会加入に際しては、※ラリー互助会規約を熟読し、規定に指示された手続きを行う事。

オーガナイザーによるラリー保険斡旋：無

※ラリー互助会規約 http://www.jmrc-chubu.jp/document/rally/regulation/2014_jmrc_regulation.pdf

第15条 参加申込方法

1. 参加申込は <https://ws.formzu.net/dist/S39962229/>（右QRコード参照）にアクセスし、必要事項を正確に入力し、申込み後、参加料を銀行振込又は大会事務局に現金を持参すること。電話およびFAXでの申込は受け付けない。

【振込先口座】銀行名：名古屋銀行、支店名：長久手支店

口座番号：普通預金 3307241

口座名義：MASC 勝田照夫(エムエーエスシーカツタテルオ)

インターネット環境がない場合に限り、JMRC 中部共通申込書での申込みも可

2. 提出書類

① 誓約書(署名&押印後提出) <http://goo.gl/cOvuZ3>

② 費用振込済確認書類

③ 車検証コピー、運転免許証コピー、競技運転者ライセンスコピー

④ ラリーに有効な保険に加入していることの証明

3. 提出書類は、郵送または持参にて受付期間内必着とする。



第16条 受付期間

2015年3月20日（金）～4月3日（金）

第17条 参加申込先及び問い合わせ先

〒480-1103 愛知県長久手市岩作琵琶ヶ池20-1 株式会社ラック内

MASCラリーin新城事務局 宛

TEL：0561-63-0103/FAX：0561-63-3535

e-Mail：masc@luckmc.ec-net.jp

個別問い合わせ先：080-4302-3928 米谷（夜21時～朝8時はご遠慮ください）

第18条 タイムスケジュール

① 参加（レッキ）受付の日時・場所	4月18日11:30～11:55	ラリーHQ
② レッキブリーフィングの日時・場所	4月18日11:55～12:00	ラリーHQ
③ レッキ開始、終了時間	4月18日12:00～16:00	
④ 公式車検の日時・場所	4月18日16:00～17:00	やまびこの丘敷地内
⑤ 第1回審査委員会の日時・場所	4月18日17:00	ラリーHQ
⑥ スタートリストの公示	4月18日17:30	ラリーHQ
⑦ ドライバースブリーフィングの日時・場所	4月18日17:30	やまびこの丘敷地内
⑧ 懇親会	4月18日18:00～21:00	やまびこの丘BBQ場
⑨ ラリースタート（1号車予定）	4月19日 8:00	やまびこの丘敷地内
⑩ ラリーフィニッシュ（1号車予定）	4月19日15:00	やまびこの丘敷地内
⑪ 暫定結果の発表日時・場所（予定）	4月19日15:30	ラリーHQ
⑫ 再車検日時・場所（予定）	4月19日15:30	やまびこの丘敷地内
⑬ 表彰式の開催日時・場所（予定）	4月19日16:00	やまびこの丘敷地内

第19条 サービス

サービス会場：愛知県新城市玖老勢字新井9 山びこの丘敷地内

サービス会場の管理方法：サービスレイアウトは、コミュニケーションにて発表する。

サービス会場内には、競技車両、オフィシャル車両、サービス登録された車両以外立ち入り禁止とする。

第20条 賞典

DE-6クラス 1～3位 JAFメダル・副賞・新城ラリー優待	4～6位 副賞・新城ラリー優待
DE-5クラス 1～3位 JAFメダル・副賞・新城ラリー優待	4～6位 副賞・新城ラリー優待
DE-4クラス 1～3位 JAFメダル・副賞・新城ラリー優待	4～6位 副賞・新城ラリー優待
DE-3クラス 1～3位 JAFメダル・副賞・新城ラリー優待	4～6位 副賞・新城ラリー優待
DE-2クラス 1～3位 JAFメダル・副賞・新城ラリー優待	4～6位 副賞・新城ラリー優待
CL-2クラス 1～3位 JAFメダル・副賞	4～6位 副賞
CL-1クラス 1～3位 JAFメダル・副賞	4～6位 副賞
オープンクラス 1～3位 副賞	

賞典の数は各クラス参加台数の25%を下限として制限するものとする。その場合、公式通知で示す。

第21条 付則

1. 本共通規則の適用は、各競技会の参加申し込み受付と同時に有効となる。
2. 本特別規則に記載されない競技に関する細則は、国内競技規則とその付則、国際モータースポーツ競技規則とその付則、ラリー競技開催規定とその付則、JMRC中部ラリー共通規則ならびにJMRC中部ラリーシリーズ戦規定に従って開催される。
3. 本規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会の決定を最終とする。

付則1 アイテナリー(1) 中部・近畿選手権(チャンピオン)ノオープンクラス

JMRC中部・近畿地区選手権 ITINERARY

2015/4/19 Sunday

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due	
SS	場所	S S 距離	リエゾン距離	総移動距離	目標所要時間	先頭車時刻	
0	Rally Start 山びこの丘					8:00	Section 1
1	七久保(Nanakubo)	—	11.870	11.870	0:32	8:32	
SS1	雁峰北リバース1	5.744	—	—	0:03	8:35	
2	塩瀬(Siose)	—	11.748	17.492	0:42	9:17	
SS2	ほうらいせんー念不動1	6.246	—	—	0:03	9:20	
2A	Regroup in 山びこの丘	—	22.122	28.368	1:00	10:20	
2B	Regroup exit, Service In	—	—	—	0:15	10:35	
Section1 Total		11.990	45.740	57.730			
2C	Service Exit 山びこの丘	—	—	—	0:15	10:50	Section 2
RZ1	Refuel(丸紅 大海SS(株式会社しんせき))		(9.651)	(9.651)			
	Totals to Refuel	(11.990)	(55.391)	(67.381)			
	Distance to Rally Finish	(17.734)	(62.801)	(80.535)			
3	七久保(Nanakubo)	—	18.436	18.436	0:47	11:37	
SS3	雁峰北リバース2	5.744	—	—	0:03	11:40	
4	塩瀬(Siose)	—	11.748	17.492	0:42	12:22	
SS4	ほうらいせんー念不動2	6.246	—	—	0:03	12:25	
5	七久保	—	27.149	33.395	1:12	13:37	
SS5	雁峰北リバース3	5.744	—	—	0:03	13:40	
5A	Parcferme IN 山びこの丘	—	16.829	22.573	0:50	14:30	
Section2 Total		17.734	74.162	91.896			
Rally Total		29.724	119.902	149.626			

TC5Aは、早着によるペナルティはありません

付則2 アイテナリー(2) チャレンジクラス

JMRC中部Challenge ITINERARY(ラリー工程表)

2015/4/19 Sunday

TC	Location	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due	
SS	場所	S S 距離	リエゾン距離	総移動距離	目標所要時間	先頭車時刻	
0	Rally Start 山びこの丘					8:31	Section 1
1	七久保(Nanakubo)	—	11.870	11.870	0:32	9:03	
SS1	雁峰北リバース1	5.744	—	—	0:03	9:06	
2	塩瀬(Siose)	—	11.748	17.492	0:42	9:48	
SS2	ほうらいせんー念不動1	6.246	—	—	0:03	9:51	
2A	Regroup In 山びこの丘	—	22.122	28.368	1:00	10:51	
2B	Regroup Exit, Service In	—	—	—	0:15	11:06	
Section1 Total		11.990	45.740	57.730			
2C	Service Exit 山びこの丘	—	—	—	0:15	11:21	Section 2
RZ1	Refuel(丸紅 大海SS(株式会社しんせき))		(9.651)	(9.651)			
	Totals to Refuel(スタートからリフューエルまでの距離)	(11.990)	(55.391)	(67.381)			
	Distance to Rally Finish(ラリーフィニッシュまでの距離)	(11.990)	(43.004)	(54.994)			
3	七久保(Nanakubo)	—	18.436	18.436	0:47	12:08	
SS3	雁峰北リバース2	5.744	—	—	0:03	12:11	
4	塩瀬(Siose)	—	11.748	17.492	0:42	12:53	
SS4	ほうらいせんー念不動2	6.246	—	—	0:03	12:56	
4A	Parcferme IN 山びこの丘	—	22.471	28.717	1:00	13:56	
Section3 Total		11.990	52.655	64.645			
Rally Total		23.980	98.395	122.375			

TC4Aは、早着によるペナルティはありません

付則3 CRO



藤田 洋文

電話：別途コミュニケーションにて示す。

CRO行動スケジュール（予定）

4月18日(土)：HQ、サービスパーク周辺、車検場、ドライバーズブリーフィング会場、懇親会

4月19日(土)：HQ、サービスパーク、リグループ、表彰式会場周辺

付則4 サービスパークレイアウト

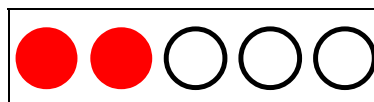
別途コミュニケーションにて示す。

付則5 信号灯によるスタート手順

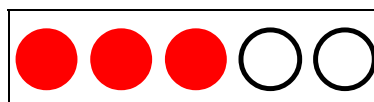
スタート5秒前には赤灯が1個点灯



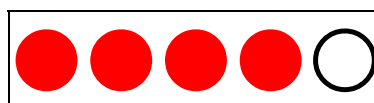
スタート4秒前には赤灯が2個点灯



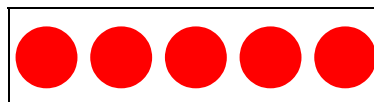
スタート3秒前には赤灯が3個点灯



スタート2秒前には赤灯が4個点灯



スタート1秒前には赤灯が5個点灯



スタート時には全ての灯火が消灯



付則6 ゼッケンおよび広告

ゼッケン : 左右ドア及びボンネットの計3枚
JAF公認ラリー競技会之証 : 左リアウィンドウ

別添1：JMRC中部ラリー互助会 《規約》

※注意：JMRC中部互助会は、JMRC中部所属クラブに名簿登録（2015年度JMRC中部事務局に提出済みである事）された方しか加入できませんのでご了承ください。

第1条 目的

JAF中部地域クラブ協議会（以下JMRC中部という）はラリー競技会の振興を図るため、相互扶助制度を設ける。

第2条 名称

JMRC中部ラリー互助会（以下互助会という）とする。

第3条 対象者

ラリー競技会に参加するドライバーが、JMRC中部に加盟するクラブの所属員であること。必ず、JMRC中部事務局に当該年度の所属員として登録申請されていること。

第4条 互助会への加入

各自、互助会申し込み専用の振込用紙にて5,000円の会費（1大会毎の掛け捨て）を郵便局にて大会日以前に確実に振込みすること。また、大会公式参加受付時にその領収書を提示すること。

第5条 適用イベント

JAF中部近畿ラリー選手権およびJMRC中部が認めた競技会に適用する。

第6条 補償内容（対人）

当該ラリー競技中（レッキを含む）に発生した、ドライバー本人が加害者となる対人身事故（死亡・重度障害）に対して、1事故500万円を限度として、見舞金を給付する。ただし、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

第7条 補償内容（対物）

当該ラリー競技のSS中に発生した、ドライバー本人が加害者となる対物損事故に対して、1事故200万円（免責10万円）を限度として、見舞金を給付する。ただし、当該競技に参加する他の競技車両との対物損事故については対象外とする。また、当該事故について、別途任意保険等から補償を受ける場合、本互助会の重複給付は行わない。

第8条 事故報告

事故報告はドライバー本人が事故発生後速やかにJMRC中部事務局宛に行うこと。

30日以内に適切な事故報告が行われない場合、給付を行わない場合がある。

事故報告書（発生時の現場詳細図および発生状況説明書）および適正な方法で作成された見積書をJMRC中部事務局に提出すること。ドライバーが報告できない場合は、所属するクラブ員が行うこと。

第9条 給付

事故報告書を基に発生状況を調査の上、運営委員会の審議結果が前項報告者に通知され、運営委員会で給付の承認がされた場合、支払済みの領収書原本をJMRC中部事務局に提出後ドライバーに銀行振り込みにて給付されるものとする。

第10条 施行

2014年5月28日より施行する。

2012年1月7日 制定
2014年5月28日 改正

別添2：JMRC中部ラリー互助会申込書記入例

申込書は、郵便局窓口で配布されている郵便振替票を使用し、下記のとおり

口座番号 00880-2-198694

加入者名 JMRC中部ラリー互助会

大会名 新城ラリー2014

開催日 2014/10/31~2014/11/1

ドライバー名 あなたの氏名

所属クラブ名 あなたの所属クラブ

金額 ￥5,000

を記入後郵便局のATMまたは郵便局の窓口で振替を実施してください。

振替手数料は、ATMの方が安くなります。

00		払 込 取 扱 票			
口座記号		口座番号(右詰めで記入)		金額	
00880 2		198694		5000	
加入者名	JMRC中部ラリー互助会			料金	特殊取扱
通 信 欄	大会名 新城ラリー2014				
	開催日 2014/10/31~2014/11/1				
	ドライバー名 中部太郎				
	所属クラブ名 CHUBU				
ご依頼人	おところ(郵便番号) 123-4567 名古屋市〇〇区〇〇町12			受付局日附印	
	おなまえ 中部太郎 様				
<small>この払込取扱票は、機械で処理しますので、枠内に丁寧に記入してください。 また、枠内を汚さない、ふた裏を折り曲げないでください。</small>					

払 込 票	
口座記号番号	00880 2
加入者名	198694
金額	5000
ご依頼人	おなまえ 中部太郎 様
料金	円
特殊取扱	受付局日附印

切り取らないで郵便局にお出しください。